

アイデア賞

アイデア賞は、取組の実績は必須ではなく、実施計画中や研究過程でも応募が可能となり、将来的に脱炭素につながるようなアイデアや提案を募集しました。厳正なる審査によって選ばれた2組が応募アイデアを披露しました。



■ 沖縄高専 4班 サステナブルパーク

私たちは、次世代環境教育の場を提供する公園、サステナブルパークを提案する。この施設は、特殊なゴミ箱でリサイクルを視覚的に理解できたり、再利用資源で作られた遊具を通して遊びながら環境問題について学べたりする子供向けの公園である。この施設は一般的な公園と同程度の規模を想定しており、全国各地への増設を期待できる。長期的な目で脱炭素を目指すために、次世代の地球を担う子供世代へのアプローチを目指した。



審査コメント

公園で子どもたちが遊ぶときにサステナビリティや脱炭素といったことを感じてもらえるよう効果を狙ったアイデアです。脱炭素化やサステナビリティの素敵なイメージをみんなが持つことに貢献してくれるようなアイデアだと思います。

審査委員長 江守 正多

■ チーム沖縄国際大学 脱炭素化を「目で見て肌で感じる」沖国大スマートキャンパス構想

省エネと再エネを島嶼地域らしい活かし方で考えた沖縄らしい脱炭素型スマートキャンパスを目指す。特に力を入れたいのが、通常のZEBではなく沖縄らしいZEB化である。創エネと蓄電により空調と照明の電力消費とCO₂排出量を抑えながら、自然と調和した沖縄らしい亜熱帯の気候風土を感じる建物にするために「琉球のつる植物を使ったグリーンカーテンと造礁サンゴによる塗り壁」を施し「優しさと癒しを感じる佇まい」にする。



審査コメント

キャンパスの脱炭素化、グリーン化は多くの大学で取り組み始めている課題ですが、それを地域の特性を活かしてやっていこうというアイデアです。脱炭素化やサステナビリティの素敵なイメージをみんなが持つことに貢献してくれるようなアイデアだと思います。

審査委員長 江守 正多

■ アンケート結果

ファイナリストの声

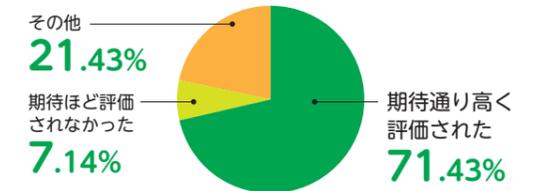
対象者:ファイナリスト21団体

回答数:14団体

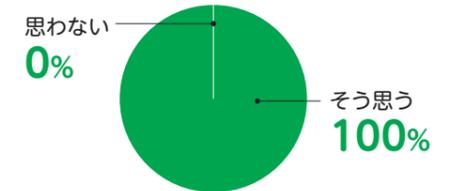
感想

- ・今年もファイナリストに選んでいただきありがとうございました。脱炭素チャレンジカップのおかげで、子供たちもただ授業の一環として脱炭素に取り組み、自分たちで実施したことを評価するのではなく、第三者に評価していただくことによって、自己有用感とモチベーションが高まっていると思います。今後も様々なことにチャレンジしていきたいと考えていますので、その際にはご助言、ご協力を頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願いたします。
- ・立派な大会に参加させていただきありがとうございました。事務局の皆様をはじめ多くの関係してくださった皆様に心より感謝申し上げます。脱炭素の取り組みが今後も広がっていくことを期待しますし、また私どももそのように努めてまいりたいと思います。
- ・低炭素から脱炭素への移行、今後も変化もあるかもしれませんが、環境事業はまだまだ光の当たりづらいものです。それに携わる人々はなかなか評価されることは少ないと感じています。その中で貴団体の活動は光を当てる点で重要なものだと思います。今後も発展していくことを強く希望いたします。この度は誠に有難うございました。

貴団体がファイナリストに選ばれたことは周囲でどのように評価されましたか？



今回の脱炭素チャレンジカップの出場は、貴団体の今後役に役立つと思われますか？

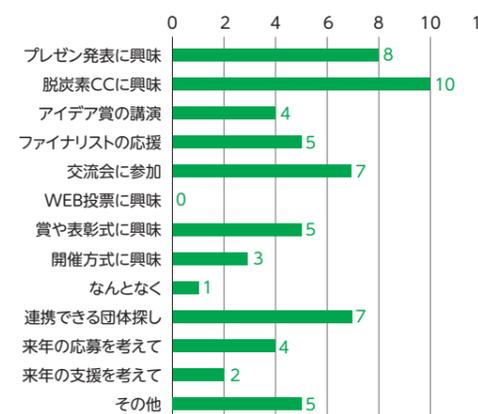


会場参加者・オンライン視聴者の声

回答数: 22名



参加目的をお選びください。(複数回答)



感想

- ・運営の工夫をいただきありがとうございます。グランプリの表彰が一番最後になってしまい、参加者の集中力も途切れる頃かと思う。例えば表彰だけは前倒しで次々と行い、グランプリには取り組みを発表する時間などを設け、審査動画だけで伝えることができない取り組みを発信してもらってはどうか？(他の賞との差別化などの意味も含め)企業賞は表彰状の授与だけでよいかと感じる。
- ・今回午前中の講演会のパネルディスカッションを聴講し、色々な立ち位置から非常に勉強になるお話が聴けました。また昼食で他の方と少しお話しできたのも良かったです。ありがとうございました。
- ・初めての参加でしたが、色々な取り組みを知れました。自分も頑張らないと、励みになりました。
- ・再エネ利用機器の研究開発をしています。技術開発の部門ができれば応募します。奨励賞をいただき、今後の活動の励みになりました。
- ・チャレンジカップ開催により、多くの方が、連携できたり、取組をがんばろうという機運を高められたり、各地の取り組みを知ることができるので、大変よい機会でした。